

板紙が出来るまで

新聞、雑誌、段ボール箱等が古紙再生の始まりです。



水と一緒にあらゆる古紙を攪拌して溶かします。

板紙製造工場のラインはざっとこんな仕組みです



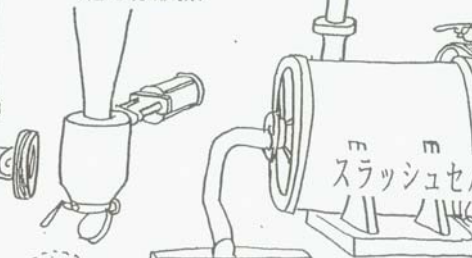
溶けた古紙パルプ液を一旦溜め槽に入れます。

砂や石ころ金物等を取り除きます。

比較的軽い異物を取り除きます。

サイクロンクリーナー
(遠心分離機)

細かく破砕された紙繊維以外の異物を更に分離精製します。



スラッシュセパレーター

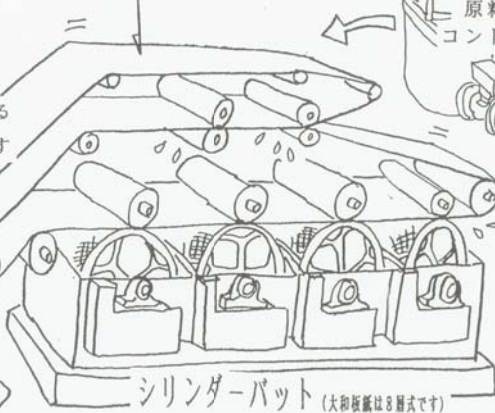
板紙を束単位に結束仕上げをします。



仕上げ工程

板紙の水分を絞るプレスロールです

紙を抄き上げたり絞ったりする為の毛布です。



シリンダーバット (大加圧紙造る用です)
(丸網抄紙機)

各種薬品や染料等を加えます。



配合、染色ビーター

ヘッドタンク

原料濃度、流量をコントロールします



いよいよ紙に抄く前の仕上げ精選です。

レファイナー
(叩解機)

紙を抄くのに適した繊維に調整します。

連続した紙を平判にカットします
紙の平滑性と厚みを均一にします。

カレンダー

ペーパードライヤー

板紙の表裏面を乾燥します

